

議会が「もっと」近くなる

市民の声

二十歳のつどい

今回は、令和7年3月16日に燕三条地場産業振興センター・メッセピアで開催された「燕市二十歳のつどい」に伺いました。



小林 叶果さん 長谷川 藍さん 佐野 水紀さん 関川 明莉さん

私たちは吉田中学校出身です。

若者が楽しめる場所をつくってほしい！地元は好きだからもっと便利で楽しいまちになったらよいと思います。ただ弥彦線の本数や遊べる場所も少なく、買い物する場所も限られています。友達と気軽に集まれる場所や、大人になっても楽しめる施設がもっとあったらうれしいです。

【二十歳の決意】

働く環境も気になります。福利厚生がしっかりした職場が増えたらより過ごしやすいまちになると思います。

丸山 蒼空さん（小池）

燕市には、いろんな商業施設ができてきましたが、もっと若者が好きな商業施設できると嬉しいし、若者が喜ぶと思います。「議会だより」は読んでいませんが、気にしてみたいと思います。

【二十歳の決意】

シンプルに立派な大人になりたいです。



伊藤 大翔さん（水道町）

今日は多くの友達と一緒に、「二十歳のつどい」に出席しています。

【二十歳の決意】

これから野球のためにアメリカに行きますが、実力を高め、成長した姿で燕市に戻ってきたいと思います。



山崎 天聖さん 関根 大斗さん（小高） 塩田 渉さん

3人とも関東の大学に通っています。「二十歳のつどい」もあったので帰省しました。「議会だより」は読んでないので、次に帰ってきた時に読んでみたいと思います。

【二十歳の決意】

地に足のついた大人になりたいと思っています。燕市は好きで満足しているので、卒業後は帰ってくることも選択肢に入れて、今後を考えていきます。



小林 和叶さん（分水文京町） 山岡 柚葉さん（吉田寿町）

議会だよりは届いているのは見たことがありますが、中身は見たことないです。

燕市は、夜の星がきれいで、ほどよくちょうどいいまちだと思います。ただ、終電が早く電車が少ないので、学生に優しいまちになってくれたらいいなと思います。

【二十歳の決意】

（山岡）学校を卒業して、これから調理師になります。県外で一人暮らしが不安ですが、仕事を頑張りたいです。（小林）私はアイブロウリストになります。県外での一人暮らしが初めてで、なれない土地で全部一人でやらなければいけないのが不安ですが、新たな挑戦として取り組みたいです。

（左から3番目）飯野 沙耶さん（井土巻）

（左から4番目）鶴巻 陽万里さん（杣木）

【二十歳の決意】

（飯野）将来は新潟で教師になれたらと思っています。

（鶴巻）管理栄養士を目指しています。

お互いに関東の大学でそれぞれ目標に向かって取り組んでいます。今の燕市に思うことは、なかなか電車がいないのと、遊べる場所がなく、行くところが決まっているので、ぜひいいまちになってほしいと思います。

幸田 奨さん
（吉田下町）高田 恒世さん
（吉田神田町）中嶋 優一さん
（粟生津）

議会だよりは見たことはあまりありません。

燕市については、いい街ですが、細かなところだと消雪パイプを早めに出してほしいと思いますし、医療が広がってほしいなと思います。

【二十歳の決意】

（幸田）専門学校で車の整備や営業など全般を学んでいます。自分以外にも周りを幸せにできるようになりたいです。

（高田）新潟大学医学部に通っています。今はとにかく医者になるためにしっかりと学んでいきたいです。

（中嶋）コンピューター系の仕事に就くので、必要なシステムなどを構築していくことで、行政サービスなどのインフラを支えていきたいです。

